

2021年度 笹川保健財団研究助成

募集要項

1 趣旨

超高齢・少子化社会の進行により、わが国で医療・看護・介護ニーズは変化しました。これまでの医療施設での治療主体の体制から、地域を基盤とし生活をも含む包括医療支援体制への転換が必至となっています。本研究助成は、以下の [Ⅰ. 研究] と [Ⅱ. 実践調査] に対し支援します。

Ⅰ. 研究

医療施設の内外を問わず、地域の保健医療サービス供給体制の充実・向上を目指す先駆的・独創的研究、特に在宅医療/看護にかかわるものを歓迎します。

- 例 ・在宅看護、在宅緩和ケアなど地域医療/在宅看護に関する研究
- ・地域のチーム医療、多職種連携に関する研究
 - ・看護師の地域社会活動と社会的処方に関する研究
 - ・在宅および医療施設での End of Life/看取りに関する研究
 - ・非がん患者を対象とした在宅緩和ケアに関する研究
 - ・看多機の機能に関する研究

Ⅱ. 実践調査・研究支援

医療・保健・看護施設や在宅看護の実践における試行的活動や、既存の活動内で確立していない手技、対処の実態調査や有効性検証で、上記Ⅰの研究に該当しない実践的調査的活動を期待します。

- 例 ・日常活動の中で、言語化、デジタル化できる事項の調査
- ・質的評価可能な手技介入の調査

2 応募資格および条件

大学・研究所・医療機関・施設・NGO/NPO 法人・行政機関所属の研究者もしくは保健医療福祉従事者で活動拠点が地域にある方（地域連携室/在宅医療）。

- (1) 所属先倫理委員会で、研究に際して個人情報保護や倫理面での必要な配慮を行ってください。
- (2) 同一申請者（団体・個人）への連続助成は原則として3回（3年）までです。ただし毎年審査選考を行うため、必ず連続して助成が得られるとは限りません。
- (3) 個人、共同研究を問いませんが、複数者が関与する際には研究代表者を指定し申請してください。
- (4) 推薦者は、大学の場合は学長もしくは学部長、大学以外の場合は所属機関長もしくは所属部署の長としてください。
- (5) 同一機関からの複数の応募は可能です。一人の推薦者による応募数の制限はありません。
- (6) 大学院生の応募は可能です。
- (7) 当財団理事、評議員等の関係者の応募はご遠慮ください。

3 助成期間

2021年6月1日～2022年2月28日【例年より期間が短縮されていますので、ご注意ください。】

4 助成内容

- (1) 助成額：[Ⅰ. 研究] 上限 150 万円/件、[Ⅱ. 実践調査支援] 上限 80 万円/件
※選考において申請金額を査定により減額して助成決定を行う場合あり
- (2) 対象数：Ⅰ、Ⅱ合わせて 10 件程度
- (3) 助成金の使途：研究の計画遂行に必要な経費 ※「費目一覧表」のとおり
- (4) 交付先：原則として、申請者個人名義の指定銀行口座
- (5) 交付時期：2021年7月下旬予定

5 応募方法

WEB 申請（助成事業ページ <https://system.shf.or.jp/app/login/>より事前に基本情報登録を行うこと）

6 応募受付期間

2021年3月中旬～4月12日（月）24時〆切

7 助成の決定

審査・選考の上、決定します。採択・非採択の内示は 2021 年 5 月中旬にメールでご連絡いたします。
正式な決定通知日は、2021 年 6 月 1 日付になります。

以上

公益財団法人 笹川保健財団 事業部 地域保健

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5 階

E-mail : community_health@shf.or.jp

Supported by  **日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION**